

スローガン「率先励行～未来のために覚悟をもって～」

【はじめに】

2021年度、コロナ禍にも関わらずたくさんの皆様のおかげで、無事に12月31日を迎えることができました。思い返せば2021年1月7日に緊急事態宣言が発出され、まん延防止等重点措置を含む制限が完全に解除されたのが10月でしたが、制限がある中でも目的を持ってしっかりと運動を行うことができたのも、一緒に運動を創り上げてくれた各委員長をはじめとするメンバーと、日頃より現役に対するご理解とご協力、並びにご支援を頂いたOB・OGの皆様、また事業にご協力いただきました、各種団体の皆様のおかげであります。この場を借りて心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

私は「率先励行～未来のために覚悟をもって～」というスローガンを掲げ、1年間誰よりも先頭に立ち、メンバーに背中を見せながら運動を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、人々の価値観や考え方が変化し、人との関わりが今まで以上に希薄になるかもしれない中でも、自らが先頭に立ち、メンバーを引っ張っていきながら、しっかりと物事をやり遂げることで、組織に明るい希望の光が差し込んでくるというその一心でした。結果として、私のスローガンをメンバーみんなが自覚し、一人ひとりが率先励行しながら、諦めず運動を展開していただいたおかげで、このコロナ禍に置いても組織力が向上するという、素晴らしい結果を残すことができました。

2021年度もまたコロナとの闘いでした。理事長とは「決断するのが仕事」と歴代から教えを受けておりましたが、刻々と状況が変化する中で、こんなにも毎月のように重要な決断を迫られるとは思っていませんでした。性格上、感情に任せてしまうことが多かった私でしたが近くで支えてくれる人がたくさんいたおかげで、状況を見極めながら決断することができました。都度都度の決断が正解だったかどうかわかりませんが、自信を持って下した決断に賛同していただいたメンバーの皆様には感謝しかありません。

私は以前より「青年会議所は役が人を育てる場所」とメンバーに伝えてきましたが、私自身が理事長職に就かせていただき、理事長という役に育てていただいた一人であります。私だけではなく、率先励行を心掛けたことで成長したメンバーもたくさんおり、それがしっかりと2022年度に引き継がれていることが2021年度の運動の証でもあります。

【組織運営の改革について】

私たち青年会議所は会議体であるため、緊急事態宣言が発令されている中でも、会議の質を落とさずにしっかりとした議論を行っていかなければならないという思いは、理事メンバー全員が

認識していたと思います。Web会議が主流となりましたが、事前意見集約シートを作成し、理事会開催までに意見と対応を事前に行うなどの取り組みを行いました。理事会では重要な部分について集中して議論を交わすことで、会議時間も短縮でき、その分拡大について向き合う時間をつくるなど、有意義な時間の使い方を学ぶことができました。各種会議において、Web会議の特徴でもある、いつでもどこからでも会議に参加できる利便性を十分に活用することで、集中力が切れた状態で深夜まで会議を行うのではなく、会議の回数を敢えて増やすなど、質は落とさずに手法を変化させながらおこなってまいりました。

総会においても、第1回通常総会（2月開催）は委員会のみが現地に集まるも、その他のメンバーはWeb参加とし、第1回臨時総会（7月開催）に感染拡大中ということもあり、完全Web開催、11月の第2回通常総会についても現地とWebのハイブリット開催と、状況を鑑みながら、開催方法を変更するなどの柔軟な対応をとってきました。

40年以上積み重ねてきた伝統と歴史がある浦安青年会議所ですが、その歴史には時代の変化とともに柔軟に活動スタイルを変化させながら現在に至ってきたのだと思います。2021年度はその中でも大きく変化した年でありましたが、未来に向けて新たな扉を少しだけ開くことができましたので、変化を恐れず色々なことに挑戦しながら前進してください。

#### 【リーダーの育成について】

リーダーの決断によって社会の状況が大きく変わってしまう、私自身もそのことを深く認識していました。今までの常識が大きく変化しつつある中で、新たなリーダー像を養うことが急務と考え、これから訪れる時代に即したリーダー像にアップデートし、時代を乗り切るリーダーシップを身につける事業を展開してまいりました。4月と11月に講師をお呼びしての講師例会を行いました。お二方からリーダー像についてお話を聞かせていただき、自分自身が抱いていたリーダー像とは全く違ったリーダー像について学んだことで、視野が広くなり、今後起こりえるどのような事態にも対応出来る力を備えることができたと考えております。この先どのような世界になっていくかは想像が付きませんが、2021年は大きく変化した年であったことは間違いありません。リーダーとしての資質を向上させる事業を展開したことで、アップデートされたリーダー達が今後活躍してくれることを願っています。

#### 【青少年事業について】

私は所信において、青少年の「自己肯定感の育成」、「他人を思いやる心の育成」、「勝負に勝った喜びや負けた悔しさを体験」が強い心を育み、人を思いやる心の余裕につながると掲げました。

毎年行っていた5月例会「わんぱく相撲」ですが、コロナ禍での開催ということもあり、実際のところ、理事メンバーの中でも開催について異論があり、議論を交わしました。確かに人と人との接触を減らすよう要請がある中で、体と体をぶつけ合う相撲大会の開催については様々なご意見をいただきましたが、感染予防対策を施し、コロナ禍でのわんぱく相撲を開催することで、そこに参加したことをみんなで称え、自分で自分を褒めることで自己肯定感を養う一歩となる、そう確信し、事業開催に踏み切りました。直前まで開催出来るか解らない状況で

したが、施設を含め、たくさんの方のご理解とご協力の結果、160名の子どもが参加し、感染者が発生することなく無事に事業を終えることができました。

わんぱく相撲終了後、その日の夜に小学校2年生の部で参加した保護者の方から1通のメールが届きました。「元々一人っ子ということもあり、勝ち負けや取り合いなどしない、おっとりした性格ですが、お友達に誘われて珍しく参加すると言ってくれました。結局負けてはしまい、会場を出ると悔し泣きをしていましたが、来年は絶対勝ちたいと言ってくれたことが本当に嬉しかったです。勝つ事も大事ですが、それ以上に色々なことに挑戦することの大切さを学んで欲しいと思っていましたので、今回コロナ禍の中、運営の皆様は大変なご苦勞だったかと思いますが、中止にせず開催していただけたこと、本当に嬉しく感謝しております。ありがとうございます。」とのメールをいただきました。色々な感情が込み上げ、目頭が熱くなったことを覚えています。当日はソーシャルディスタンスや消毒など、通常の開催よりもはるかに気を使う部分が多かったのですが、メンバー丸となって率先励行して取り組んでいただいた結果だと感謝しております。

そして誰でも参加でき、自信を持って挑戦できる心を育むことを目的として、11月第一例会「いざ！勝負！みんなでスポーツ鬼ごっこ」を開催しました。今般の状況を鑑み、募集人数を150名に制限したところ、168名の応募があり、小学校低学年の部については早々に募集を取りやめてしまう程の反響があった事業となりました。参加した子どもや保護者の方から、翌年の開催も熱望される声を多数いただいたこともあり、運動の広がりを見せることが出来た事業となりました。

#### 【市川青年会議所との初の合同事業について】

2021年10月に、衆議院解散に伴う第49回衆議院議員総選挙2021が行われました。第49回衆議院議員選挙小選挙区千葉5区の範囲が市川市・浦安市となっているなかで、市川市と浦安市には互いに青年会議所が存在しています。理念が同じ団体であることや、理事長同士が良好な関係を築いていることもあり、パートナーシップの強化と、互いの青年会議所のスキルアップを視野にいれ、実行委員会を設立し、ネット討論会を開催しました。総勢10名の実行委員会を設立し、互いにペアを組んで5つに分け、当日までの準備を行いました。ペアで連絡を取りながら作業を分担し、支えあいながら開催を迎えましたが、当日も自分の役割以外に気づいたら自分から率先して行動する姿がみられたことから、個だけではなく、会としてもスキルアップすることができたと思います。また、この先お互いに持続可能な組織を目指していく上で必要なパートナーとして、関係を強固にしていこうという意識が根付いたと考えます。

#### 【未来のために覚悟をもった拡大について】

青年会議所運動を展開するには、運動を共にする仲間が存在が必要不可欠です。拡大は誰かがやるだろうと人任せになってしまったり、他人事ととらわれてしまう傾向がありますが、私はその意識を根本から変化させるために、率先励行して取り組んできました。理事会では拡大会議と題し、私が自ら議長を務め、拡大について1人1人の理事メンバーに問いかける形で意識を変化させてきました。アンテナを高く、常に拡大について考えてほしいと伝えました。拡大手法については委員会メンバーを中心に、やれることは全てやってきました。各委員会持ち回りで拡大オリエンテーション開催や、拡大リーフレットやポスターを作成して、駅前配

活動などを行いました。背中を見せることで、メンバーの意識にも変化が見られ、拡大を自分事と捉えるようになった結果、17名の拡大につながり、拡大率77%を達成しました。拡大率77%は千葉ブロック協議会の中でも破格の拡大率となり、「千葉ブロック協議会 CHIBA AWARD 2021」にて拡大率大賞を受賞する運びとなりました。

また、OB・OGの皆様におかれましては、拡大オリエンテーションにて講師を務めていただいたり、直接の訪問やメンバーからの突然の電話にも丁寧にご対応いただいたり、オブザーバーをご紹介いただいたりと、多大なるご理解とご協力をいただきましたことに、改めて心より御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

### 【さいごに】

2021年度新しい風が吹き込まれ、大きな渦となり、素晴らしい形で2022度に襻を渡すことができたのも、理事メンバーをはじめ、立ちはだかる壁をのぼりながら諦めず前と上だけを見てきた結果だと断言できます。

私は昨年12月31日をもって、理事長職を終えると同時に浦安青年会議所を卒業しました。入会してからの6年間、たくさんの方との出会いと経験が、私を成長させてくれました。入会してから卒業するまで、息をつく間もなく全力で走り続けてきました。少しずつ成長していく自分がいて、もっと成長したいと思う自分がいたからでもあります。やはりそこには仲間がいて、仲間に出たいから、新しい仲間に出会えるからという思いがあり、これが私の走り続けることが出来た原動力であります。もっと早く入会して、もっと色々な経験をして、もっと色々な人達と出会いたかった。これが私の本音です。だから皆さんも後悔しないよう、全力でJCライフを楽しんでください。

結びとなりますが、峰寄理事長率いるメンバーの皆さんが、新しい浦安青年会議所を創造し、持続可能な組織へと生まれ変わるための大きな一歩を踏み出してください。皆さんの成長を大いに期待しています。2022年度が峰寄理事長の強いリーダーシップの下、素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げ、2021年度の事業報告とさせていただきます。一年間皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。